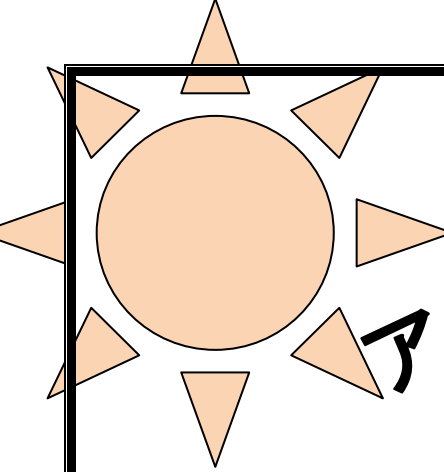
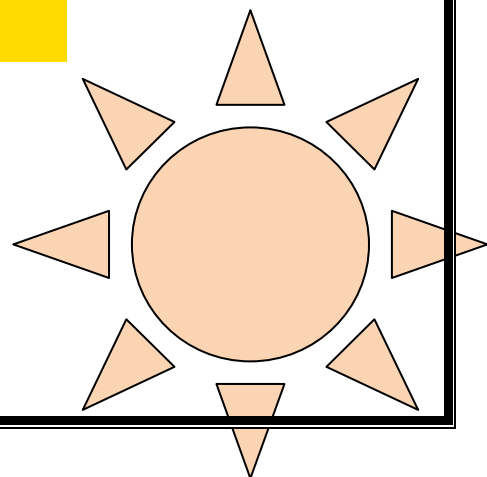




アフリカンキッズクラブ お泊まり会 報告書

～キッズクラブのお友だちと「おやすみ」～



アフリカンキッズクラブ（以下 AKC）ってなに？

2005 年に、アフリカ日本協議会（以下 AJF）理事で、アフリカンキッズのお母さんでもある人から、アフリカ出身者のいる家族のキッズが集まって遊び、彼らのルーツ・アフリカを感じるイベントを開催してはどうかという提案がありました。2006 年以降、毎年3カ月に1度の頻度でイベントを開催しています。現在は、国際結婚家庭以外にも、アフリカに興味のある日本人だけの家族やアフリカンファミリーなども参加しています。

どうしてお泊まり会？

昨年夏、AKC を長年支えてきて下さっているお母さん方と AJF インターンとが中心となり、念願であった初めてのお泊まり会を開催することが出来ました。このお泊まり会が大変好評を博し、今年度も開催することにいったのです。

アフリカにルーツを持つ同年代のキッズが「同じ釜の飯を食い、寝る前に語り、生活体験を共にする」ことで仲を深めてもらうとともに、お母さん方の繋がり場ともなることを期待致しました。



前日までの準備



2013. 04 ㊦ AKC 運営会議でお泊まり会の計画開始！

2013. 04 ㊦ 宿泊施設の確保

前年度 AJF インターンが昨年度と同じ川井キャンプ場を確保。8 月は繁忙期であるため間際だと予約出来ない可能性があります。また、早く予約することで割引がきく可能性もあることから、3~4 月に予約をしておくことがおすすめです。

【他オススメお泊まり会施設】：小川げんきプラザ（埼玉）、ゆうぱーくおごせ（埼玉）



2013. 07 ㊦ AKC 運営会議で、お泊まり会の概要確定

AKC のお母様が予算の計画書の作成！

概要や広報方法、経費についてが盛り込まれる。

2012. 08. 03 ㊦ お泊まり会事前ミーティング

AKC のお母様 2 名、AJF 事務局スタッフとで事前打ち合わせ。

開催内容の確認にはじまり、AJF 緊急連絡体制やスケジュール等の具体的内容確認、役割分担及び当日までの事前調達、準備について話し合う。

☆ 当日（1 日目・8 月 17 日） ☆

さあ、いよいよお泊まり会のはじまりです！ お天気は晴れ。みんなの行いが良いからかな～

今回の参加者は 9 家族（ママ 9 人・キッズ 12 人）、担当理事 1 人、サポート・スタッフ 3 人 Ⅱ 計 25 人



早速、川へ直行！ 浮き輪に乗ってぷかぷか気分だ～

11:20～

さあ集合！待ち合わせは新宿駅東口わき・「アルプス広場」にて。
いってきま～す！

11:44～

中央線に揺られ長～い旅路のはじまり・はじまり。奥多摩へ近づくにつれて車内は空席だらけに。テンションが高ぶるキッズたち。

12:51～

青梅駅到着！トイレ休憩とスーパーで買い足し&軽めのランチを買う人も。

13:26出発～14:00キャンプ場チェックイン！

到着～！！目の前に広がる山々、橋の下から見える川、美味しい空気みんなテンションが上がります！
今年はログハウスを2棟もかりて、どっちで誰と寝るか、みんなワクワク！自分たちのバーベキュースペースもあって、ゆっくりくつろげそう☆でもみんな、早く川で遊びたくてうずうず！^^

14:30～

川原遊びとマスのつかみ取り！

お姉さん、お兄さんたちはフローティングベストを着用し、どんどん流れの深いところへ。流されては戻り・・・の繰り返し。とっても気持ち良さそう！低学年のみんなはじゃぶじゃぶ・ぱちゃぱちゃ、お互いに水を掛け合ってワイワイ楽しんでました。みんなお気に入りの水着が似合ってるねえ！

マスのつかみ取りは去年もやったお友達はコツを思い出すとどんどんゲット！ヌルヌル～としたマスの手触りにドキドキしながらもみんな頑張ってつかみ取りできましたね。マスさんに感謝してバーベキューでおいしくいただきましょう^^



みんなで入る川は、一層楽しいね



マスのつかみ捕り！
どこかな～？
なかなかつかまらないな！



コーグルにジャケットで準備万端

17:30～

バーベキューとガーナ料理の準備開始！すすんでマスをさばいてくれるお友達、ガーナのシチューの下準備を手伝ってくれるお友達、小さな子の面倒を見てくれるお友達。みんな言われずとも進んでお手伝いをしてくれました！火起こしはお母さんたちとスタッフとで四苦八苦しながら挑戦。コツが必要ですね・・・

マスさばきは去年も挑戦したからか、みんな上手にさばけてましたね。自分の手で取って、さばいて、焼いて、いただくことできっと何かを感じたのかな・・・

焼きそばに、お肉に、お野菜に・・・次から次へと焼き上がる食材を。でも食べることに以上みんな遊ぶのも楽しい！メインのガーナ料理ができあがる頃にはみんなお腹いっぱい。明日の朝ご飯にもなるから、丁度良いか～♪適宜シャワーも浴びて、さあ夜の探検だ！



マスさばきのお手伝い！
マスさんありがとう！



大人たちは火おこしに大奮闘中！
子どもたちはザリガニ探しに夢中！

20:00～

夜の探検ヘレッツ・ゴー！みんなキラキラ光るサイリウムに大はしゃぎ。腕に付ける子、足に付ける子、髪に付ける子、みんながいたから道も大分明るくなったね～^^ 昼間とは違う川の表情に、山道に、みんなときどきしながら探検してきました。何か発見はあったかな～？

21:00～

キャンドル☆ナイトのはじまりはじまり～

夜の探検を終えて、程よくテンションも落ち着いた頃合いにアフリカの昔話がはじまりました。『賢いうさぎ』のお話は、なかなか結末を当てられる人はいなかったですね～アフリカのお話はやはり日本の昔話とは色んな面で異なることもありましたが、「良い行いをしていれば、報われる」という教えを解こうとする点では共通しているのだなあと。みんなにも伝わったかなあ^^

スワヒリ語でのお話は、よむ人「パウクワー（さあ、これから昔話はじめるよー）！」

きく人「パカワー（はーい）！」で始まりましたね。



----- (一部引用：アフリカ雑貨のお店「バラカ」より) -----

「母からのみやげ」

.....

『ハボ ザマニザカレ（むかしむかし、あるところに）貧しい母娘がおりました。ひどく貧しいながらも、娘のミザはすくすくと育ち、一五になる頃には村で評判の器量よしになり、そのうち富豪の息子に見初められ、ミザは一七で玉の輿に乗ることができました。

ミザが玉の輿に乗ったものの、母親は、あいかわらず貧しい一人暮らしを続けていました。富豪の息子は、悪い人ではありませんでしたが、とにかく気が利かない男だったので、ミザを里帰りさせたり、母親の元に使いをやって米一キロでも届けてやろうといった気遣いにはすっかり欠けておりました。

ミザは母親の元に行きたくても、夫の許しがなければ外に出ることもままなりません。ミザの結婚以来、母娘は、何か月も会えないままで過ごしていました。半年ほど経ったある日、母親は、ミザの様子を見に行くことにしました。

しかし、その日の食事にも事欠く貧しい母親には、嫁いだ娘に持っていく手土産一つ用意することができません。しかたないので、母親は、乾いたココナッツの皮を、バナナの葉っぱできれいに包んで持っていきました。

ミザは、久しぶりに母親に会えて大喜び。いそいそと家の中に招き入れました。

そして、母親が渡した土産を開けると、今度は涙を流して、

「ママ、アサンテ サーナ」（お母さん、ありがとう）

「ママ、アサンテ サーナ」（お母さん、ありがとう）

と何度も何度も言いました。・・・（続く）

☆続きは WEB で。「バラカ 昔話 母からのみやげ」で検索するといろいろな物語が読めます）



夜のお散歩の後には、アフリカ民話の読み聞かせだよ。みんなロッジに集合だよ！

22:00～

就寝、おやすみなさい☆みんな今日は長旅の後に、川で目一杯遊んで、夜は探検までしてお疲れ様でした。
自然の音に包まれながらぐっすり眠れますように。

☆当日（2日目・8月18日）☆

7:00～

おはよう～！良かった、本日もバッチリ晴天。みんなよく眠れたかな？多少冷やっと感じられたけれど、やっぱり山の空気は美味しいね。なにに？寝相が面白い人がいたって？
早起きして、早速火起こしのお手伝いをしてくれている子も。お布団を畳んで片付けに行ってくれている子も。みんな偉い！さあ朝ご飯のいいにおい♪



おはよう！ よく寝たぜ！



朝は私も火おこしのお手伝いしたよ！

7:30～

朝食！朝食はご飯に野菜にビーンズサンド♪昨日の残ってしまったものも美味しく朝ご飯として復活☆
もったいないからね。日当りの良いロッジの前にテーブルを作ってみんなで「いただきます～す！」焼きそばも、ビーンズも、サンドイッチにするとパクパク食べられたね。美味しかったよね^^みんなのママさんに感謝ですね！さて、みんなは次のミッションが待ってるから、食べたら準備だ！



ロッジの前でみんなでいただきます！



さあ、これから生き物探しに行くぞ！

8:30～

本日のミッション☆夏山探索！みんな観察ボードと虫取りあみ、かごを持っていざ出発！

なかなか見つからないな～・・・葉っぱの裏にはいるかな？「あ、この岩写真撮りたいー！」「私も私も！」生きもの探しは難しかったみたいだけど、お気に入りの風景をチェキでバッチリ撮れました！みんな良い腕前☆

9:30～

後片付けをして、チェックアウト！

みんなは早く川に行きたくてうずうず。「私はスイカを冷やす係！」「僕はまた流れの速いところへ行くぞ～！」



今日もお天気。やっぱり気持ちいいね！

ママー！

11:30～

お待ちかねのスイカ割りです！スイカも川の水で十分冷えたかな。目隠しをして、くるっと回って、さぁスイカ目がけてスタートだ！「こっちこっち！あとちょっとだけ左！よし！そこだ！」「あ～かすただけか・・・><」足元も覚束ないから、難しそうでしたね。でもみんな、リベンジも果たして見事大当たり～！ みんなで食べたスイカもとっても美味しかったね～^^



スイカ割りに挑戦。右だよ右！！

せーの！ やった！ 当たりよ！

12:00～

閉会。あっという間の一泊二日。川に、山に自然を目一杯堪能できたかな～

今年は去年よりも沢山のお友達が参加してくれて、わいわい賑やかなお泊まり会だったみたいです。名残惜しそうに川を後にし、荷物を取りにロッジへ。忘れ物が無いか最後の確認をして、ロッジにさよなら～！「夏の宿題の絵日記にはお泊まり会のこと書こうかな～」なんて話してくれる子も。自然の豊かなこの環境で、みんなにとって思い出いっぱいの会となったら嬉しいです^^♪

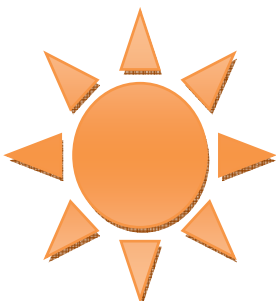
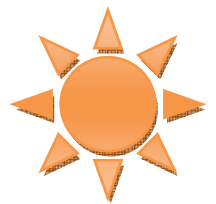
最後に集合写真をばちり。なんだか、この一泊二日で一つの家族になったような、そんな一体感を感じました。そして解散。残れる人だけザリガニ釣りに挑戦しました☆みんなまた会う日まで元気でね～！



ピース！



ザリガニ探し中。釣れるかな～



お泊まり会を終えて



人数が多くてキャンプしたなー！って感じがした！川遊び、ザリガニつり、小屋での遊びが楽しかった。夜の探検は熊が出そうで怖かったけどワクワクして楽しかった。



川遊びはもちろん楽しかった。今年は年下の子が多く、去年より働いた感じがするが、それは充実していたと思う。マスのさばき方を年下の子に教えたことが印象に残ったし楽しかった。夜の散歩は去年に続き良かった。

川遊び、ザリガニつりが楽しかった！川に大きな魚がいて捕まえられそうだったけどできなかった。くやしい！ザリガニは去年よりたくさん釣れておもしろかった。



楽しかったことは川遊び！さんぽ。マスつかみ、読み聞かせかな～



ママたちの感想

子どもは年1回でも友達と泊まりにいった共通の体験をすること楽しみにしているので、参加できてよかった。まだ時間が足りないほど思いっきり楽しんでいたのよい思い出になった。今年は人数が増えた分“サマーキャンプ”という感じがでていたが、もう少しサポーターが欲しかった。前回経験していたので、勝手がわかりやりやすかった。

ケガ、事故無く子供達の楽しそうな笑顔が沢山見られたので、今回も参加させてもらって良かったと思いました。
川遊びの見守りは目が行き届いていた

現地に2時集合は遅いかなと思っていましたが、川遊び、マスつかみ、BBQ、子供達のみで交流している時間、夜の探検、紙芝居の読み聞かせ等本当に充実していました。次の日も川遊びができて喜んでいました。

ロッジは子供達が喜ぶ作りになっていてとても良かったです。
一泊一緒に生活して、子供達どうしが深く仲良く慣れたので参加して本当に良かったです。また来年も参加したいです!!

誰もケガをするなどなく、無事に終了して良かった。
新しい出会いもあり、そんな中でも仲良くみんなで遊べ、みんなが笑顔をしていたのが印象的。



反省点・・・&次回への提案！



(1) 事前作業の分担・準備について

- ・ 特定の方に負担がかかりすぎたのではないか。事前に分配の必要性。
- ・ 実際の準備は 1 カ月前から、参加の締切は 2 週間前にしたが、このスケジュールで問題なく実施できた。
- ・ 初めての参加者はとまどった点もあったのではないか。これからは参加者向けの事前説明会を開催して、できが参加者にも作業分担をお願いするとよいのでは。
- ・ 川井キャンプ場のロッジと駐車場の予約は 3～4 月に行っておく。
- ・ サポートスタッフの確保が課題。

(2) 当日の備品・サポートスタッフについて

(a) 事前の備品リストにはなかったが、用意しておいてよかったもの

- ・ ケミカルライト(サイリウム、折れ曲げると光る棒) ←子どもが付けると夜間の目印になり、かつ、子どもたちに楽しんでもらえた。
- ・ 10L のクーラーボトル ←ロックアイスをいれておくと日中でも飲み物が半日以上は冷えた状態。

(b) 次回からは用意・注意べきもの

- ・ 日よけ(シェード) ←河原に設置する。
- ・ 浮き輪やライフジャケットは参加者全員が持参するようにする
- ・ タッパー・チャック付きビニール袋 ←料理の残りを保管するのに紙皿やサランラップだけでは不十分。
- ・ キャンプ用イスやテーブルが余分にあるとよい。
- ・ 参加者が持参する懐中電灯など、電池を使用する備品は、事前に問題なく作動するかどうか(電池は切れていないか、スイッチや端子の不具合はないか、など)を確認しておくことが必要。

(c) サポートスタッフ

- ・ 今年はサポートスタッフの数が不足していた
- ・ 特に就学前の幼児の親の負担の軽減のために、就学前の幼児には専任でサポートスタッフが付けるようにする。

(3) 安全対策

(a) 川遊びでの見張り、夜間の探索など

- ・ サポートスタッフを増員して、危険な場所で子どもが遊ばないようにすることで対応できる。
- ・ 夜間の探索も、サポートスタッフの数がそろっていれば特に危険ではない。
- ・ 就学前の幼児には親と一緒に行動しなくても、サポートスタッフが専任で付くようにする。

(b) 保険について

- ・ 宿泊が入ると旅行・傷害保険になる。
- ・ 参加者の受付の段階で、保険契約に必要なので本名(いわゆる戸籍名)と生年月日を確実に記載してもらう。

(4) 宿泊・食事・当日の企画など

(a) 宿泊

- ・ 利用料金は 15,000～20,000 円高くなるが、バス・トイレ、キッチン、マットレス、冷蔵庫(バンガローのものより大型)付の 20 人用のロッジを借りることもできる。ただし、他のバンガローに隣接していない。このロッジを借りる場合は、その分だけ参加費の値上げも検討する。
- ・ シャワーの利用(有料)が大変。

(b) 食事

- ・ 人数が増えると炊事場に入りきらない(炊事場は 15 人用が最大)
- ・ 参加者には全員が集まって決まった時間に食べられるようにする。
- ・ 子どもにはそれぞれプレートで出した方がよいのではないか。
- ・ 炊事のときの手順と役割分担
- ・ 子どもが食事づくりを手伝うことも検討する(何歳から包丁を持たせてもよいのか、火起こしはどうするのか、などを検討)。
- ・ 子どもどうして協力・サポートできることを追求する。
- ・ キャンプ場で予約・購入できるバーベキューセットの食材も頼んだのはよかった。

(c) アフリカ民話の読み聞かせ

- ・ 担当が紙芝居も用意してくれたので、子どもたちにも好評。
- ・ 当初のスケジュールを変更して、夜間探索の後(就寝前)にしてよかった。

(d) レクリエーション(2 日目の午前中)

- ・ 日中でも生き物探しは難しい。2 日目のレクリエーションは企画内容を再検討する(チェキを使った写真撮影、工作の素材探し、ザリガニ釣り、など)。
- ・ チェックアウトの時間(10 時)の前にできることが条件。
- ・ 2 日目のレクリエーションは数チームに分けて実施してもよい。

(d) 集合・解散

- ・ 集合時間を早めてほしいという要望はあるが、14 時のロッジのチェックインに合わせて決めた。
- ・ 備品や食料品の積みおろしや河原でのシェードなどのセッティングのために、荷物運搬車でキャンプ場に向かうメンバーが 2 人必要。
- ・ 10 時のチェックアウト後の川遊びなどのときの荷物の管理について、どうするのかを事前に決めておく。

編集後記

今回はサポーターとして初めて参加させていただきました。短い時間ではありましたが、お母様方の事前の入念な準備のお陰で、子どもたちもとても濃密な時間を過ごせたのではないかと思います。今回初めて出会った子ども、最後にはみんな兄弟姉妹のように溶け込んでいたのが私も嬉しかったです。普段なかなか体験出来ないような自然とのふれあいの中で、友達ともお母さんとも繋がりが深められたなら、と思うとともに、今後は徐々に子どもたち主体での企画へとお手伝いしていけると更に良いなと考えております。(AJF インターン 由井 蘭 美和)

おまけ

～ガーナ風トマトシチューの作り方～

【トマトシチュー】作り方

(材料)2～3人前

とり肉 200～300g、玉ねぎ中 2～3 個(1 個/人) ホールトマト(2～3 缶)、トマトペースト 30g、コンソメ(マギー)2～3 個、 塩、レッドペッパー、(好みで)にんにく、油(パーム油) お好みでナス、オクラをいれてもおいしい。

- 1、とり肉を適当な大きさにカットして下茹でする。
- 2、玉ねぎ 2 個(3 個)をみじん切りにする。(にんにくをすりおろす)
- 3、ホールトマトをざく切りにする。
- 4、2 を油でしんなりとするまで炒める。
- 5、トマトペーストを少し水で溶き、4 と一緒に炒めて油となじませる。
- 6、3 と調味料を加えて味をなじませる。(やさいを入れて火を通す)
- 7、下茹でしたとり肉を加える。
- 8、味をととのえる。
- 9、ごはんやフフにかけて召し上がれ!

※フフはバンクーとも言われ、シチュー(スープ)と一緒に食べるものです。 ガーナではキャッサバ、プランテンを混ぜて作ります。(トウモロコシの粉、タロイモを使用することもあり。)お餅のような食感です。

ーAKC過去のイベント いちらんー

●キッズむけ

- 2010年2月 おしゃれなアフリカに触れよう！ アフリカの服、アート、食べ物
2010年7月 キッズのためのミニ音楽会 ジンバブエの楽器ムビラを聴いてみよう！
2010年11月 サッカー・ワールドカップが開かれた国、南アフリカってどんな国？
2011年2月 たのしいアフリカに触れよう！ 日本とアフリカの遊びを一緒に！
2011年8月 セネガルの太鼓サバルにあわせて踊ってみよう！
2011年11月 アフリカ1周！？ クイズに答えてアフリカを旅しちゃおう！？
2012年2月5日 ガーナ&アフリカ・こどものあそび教室：アフリカンハートであたたかな冬の日
2012年8月5日 タンザニアの現代アート・ティンガティンガ風のぬりえで暑中おみまいをつくろう
2012年12月9日 寒さなんか吹き飛ばせ！アフリカ風日本の遊びと西アフリカ大ビンゴ大会
2013年2月23日 上野でちょこっとバレンタイン～チョコレート博士になろう～
2013年7月15日 アフリカンキッズクラブ：みんな友だち。お兄さんお姉さんと遊ぼう！！

●お母さんお父さんむけ 在日アフリカ人家族の生活を考える会

- 2009年7月4日 セネガル子育てレポート
2010年7月3日 在日アフリカ人コミュニティへの HIV/AIDS 予防啓発活動の取り組み
2010年9月23日 結婚、移住してガーナを生きる日本の女性たち
2011年7月2日 アフリカ系・外国系家族のリスクマネジメント座談会 ～大震災を経験して～
2012年7月14日 新・在留管理制度がはじまるとどうなるの？～弁護士との相談会～



サポーター募集中！

アフリカンキッズクラブでは、年3回に行う
キッズ向けのイベントや、お母さんお父さん向け
の「在日アフリカ人家族の生活を考える会」など
の企画や当日サポーターを募集しています。
大学生から社会人、アフリカ人留学生まで今まで
沢山のサポーターにご協力いただいています！

【発行】（特活）アフリカ日本協議会 Africa Japan Forum
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6
丸幸ビル3F
TEL:03-3834-6902 FAX：03-3834-6903
✉ info@ajf.gr.jp WEB：www.ajf.gr.jp

2013 年 10 月 4 日発行

編集：由井 蘭 美和 発行人：斉藤龍一郎